

その時代に合った 学生のための学生会館に

あの思い出の場を、今と未来のICU生たちにつなぐために

あの人と一緒にオーディトリアムで観た公演のこと、友人たちと暗くなるまでラウンジで語り合ったこと、卒論の製本に慌てたこと……部室があつたり公演の場だったりしたD館族に限らず、多くの同窓生にとって、「D館」は特別な思い出の場であると思います。

そんなD館も1958年の竣工から63年、還暦をこえました。近年では、近代建築としての歴史的・文化的な価値が社会的にも評価されていますが、設備や備品の老朽化もあり、以前ほどの賑わいは見られなくなっています。

そこで、今と未来のICU生にとって大切な学生生活の場であり続けるため、「多目的かつ無目的（=目的を持たず、空いた時間になんとなく訪れても安心して過ごせる場）」という思いのもと、改修工事が進められています。

①舞台周りの老朽化と安全性の不安に対応した設備改修、②エレベーター設置などのバリアフリー化、③ラウンジの改修による学生の「居場所」「集う」機能の強化、など。

D館に思い入れのあるみなさん、ぜひこの取組を見守り、そして応援していきましょう♪

思い出のD館



ベランダ



地下階



オーディトリアム

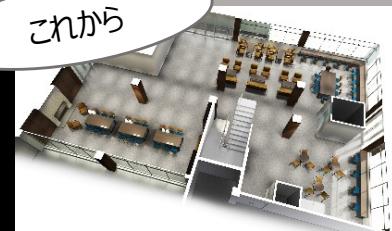


舞台裏



ホワイエ

これから



3つのラウンジ エリアに
設けたコンセプト

Christianity バイブルクラスを開いた
設計者ヴォーリズの自宅をイメージ

International 孤独を作らない、
留学生にも誰にでも居心地のいいスペース



「ディッフェンドルファーの碑」
本館側の記念碑をライトアップ



アクセスと設備 人や物の移動にやさしいスロープ。エレベーター、多機能トイレ
(車いすアクセス可、オールジェンダー、いろいろな設備付き) 設置、空調設備導入



上掲イメージ図は、一粒社ヴォーリズ建築事務所のご厚意でご提供いただきました。
家具内装などを含めて全てコンセプトで、実際の完成図とは異なります。

旧D館のご支援は

ICU 「教育施設の整備 D館東棟修繕募金」

2023年3月31日まで

寄付のお願いメッセージや
歴史的建造物としての
解説などがご覧になれます

[ICU「D館東棟修繕募金」ページ](#)

